

しんぱう
の
木更菜

R18
ADULT
ONLY





デボラ：また鏡を
見ていたのかい？フッフ
本当にお前は美しく
成長したね

高価な絹や宝石に身を包んで
美しく装っていても…
肝心のその目はうつろで
古い沼のようによどんでいる
鋭い棘で心を覆い…
誰も…よせつけようとしない
鏡をのぞくたびに
そんな自分を見つけてしまう

宝石で飾られたお前は
まるで艶やかな薔薇のようだ

いばらの棘

おは

おは

おは

おは

おは

!!



数年前、私達があつた男に
引き取られた時はただ
本当に嬉しかった

今日から君たちは
私と一緒に暮らすんだよ
よろしくね

さようなら

本当に良かった
元気でね…

私のことを本当の親と
思つて甘えていいんだよ

遠慮なんか
するもんじゃない
わかったね

ほむっ

びび

びび

本当の親だと思って：
その言葉に一遍の疑いも
持たず、幸せで恵まれた
日々を送っていた

私に目を向けている時の
あの男の眼差しが
肉欲に塗れていた事に
全く気づかなかった

えー、
The Girl in the Red Dress
is beautiful
—

やだもラ
くす
姉さん

ニヤニヤ

あれ…？パパ
こんな時間に
どうしたの？

あゝ

獣はある日突然本性を現した
深夜に部屋に入ってきた父に
どうしたの？何かあったの？と問うたが
無言のまま押し倒され、服を剥がされ
肌をまさぐられた
私は優しくかった父の豹変がただただ
恐ろしかった

きやあつ！
パパ？何？
やだやめてっ

嫌あ！

デボラ：お前という薔薇を
手折りにきたよ：
いいかい：これまでも
これから先もお前はずっと
私のものだ

!!
なっ?…っ!
パパ…やめて!
お願いっ!

ざざ

体の隅々に私のしるしを
刻んでやろう：
破瓜は多少痛みを伴うから
少し我慢しておくれ

あああ

ざざ

あんな
こんな
の嫌あつ
お願い…やめて…

痛っ痛い!痛い!
いやああつやめてえ

ズズ

あああ!!

ざざ





お前...デボラ...
お前の具合は最高だよ
気持ちがいいよデボラ...
もうそろそろ限界だ...!

臆内に
射精すぞ!

痛っあああ!
やだっ抜いて!お願いっ

ズッ
ズッ



あああ

お前...!

ズッ
ズッ

ズッ
ズッ

うう…
こんな…酷い

デボラ、お前は
私のモノだ
どこの馬の骨とも
知れぬ輩に身体を
許してはならんぞ

なにを言ってるのよ！
実の父親のように思っていたのに！
こんな…おぞましい真似…！
出て行くわ！

わが子のように慈しみ育てた
果实を収穫しただけだ
お前は私のものだ
今までも…これからもずっと

この家から出て行くというが
残されたフローラはどうなる？
お前が居なくなったら後…
一人残されるフローラは？

…わかった…わ…パ…いえ、あなたの
言う通りにする…だけど一つだけ
約束して…

フローラにだけは絶対に
酷いことしないで！
あなたから離れた場所に！

ハッ



お前の望みを叶えてやろう…
この街から離れた教会に、花嫁修業とでも
いって送り出してやるよ…デボラ
だが…お前がこの家から逃げ出したなら
…わかってるかな？

お前が逃げたら、フローラに
罰を与えねばならん



デボラ…お前は私の
美しい人形だ…美しい宝石と
花で飾り愛でてやろう…
そしてお前を散らすのは
私だけだ

ああっ
いやあ…



フローラ：あなたにだけはこんな
 思っていて欲しくない…
 私はもう逃げられない…だから
 あなただけでも穢れを知らない場所で
 …幸せなままで居て欲しい…
 こんな惨めな今の私、アナタには…
 見せたくない…



フフフ：舐め取っても
 舐め取ってもお前の蜜が
 あふれてくるぞ…私の舌に
 吸い付いてくる肉ひだが
 たまらん…



おお…そうだ…
 上手いぞ…

お前も私のモノを
 その舌で愛撫しておくれ
 下から上に…
 ねぶるように…







なんだか
バタバタしてるけど
なにかあるの？

おは

お

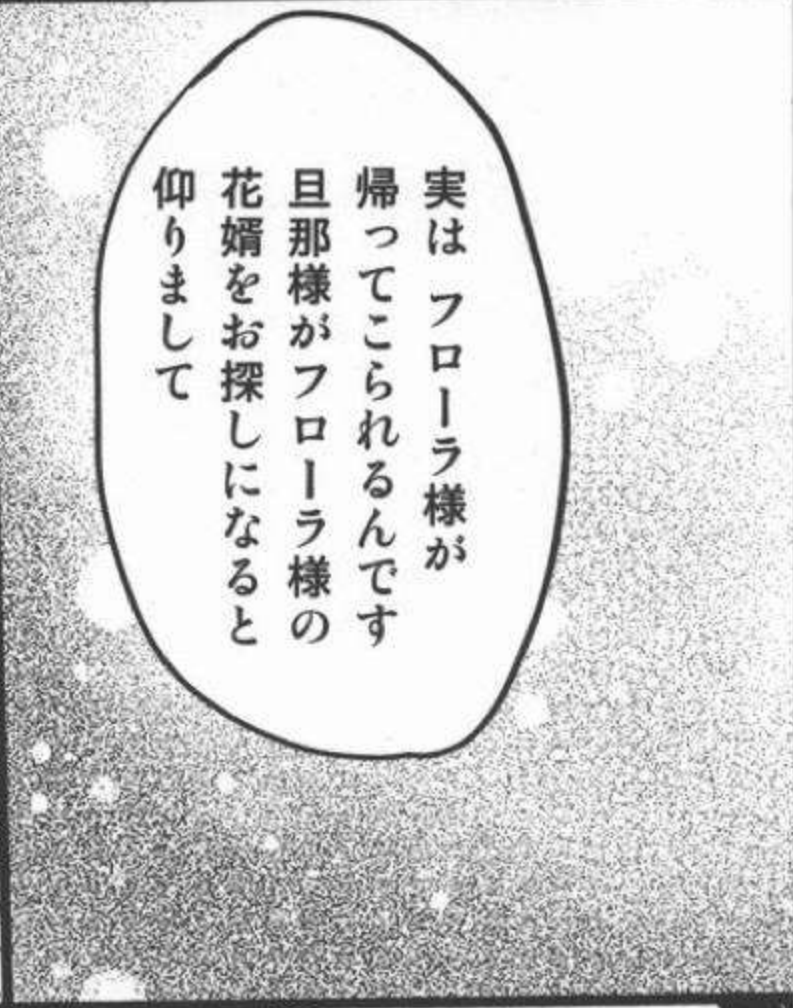
バタ

ガタ



それで色々な
所からお客様も
こられますし
結構忙しいですね

ふーん
成る程ねえ



実はフローラ様が
帰ってこられるんです
旦那様がフローラ様の
花婿をお探しになると
仰りまして



フローラ：帰ってくるんだ
久しぶりだな…





フローラ！
…会いたかったわ！

ガタン

デボラ姉さん…



元気そうね！
ああ…フローラ！
嬉しいわ

姉さんたら
くすぐったいわ

ぎゅっ



久しぶりね！
デボラ姉さん…



ふふ



何もこんな時にまで…
フローラが帰ってきてるのに…



…ああそうだった
折角フローラが帰ってきてるんだ
ここに来るようにいつてある

どういうこと？
ふざけないで！

フロアに居る
女の子が居る…



おやフローラ
遅かったじゃないか

フローラ?
ここに来ちゃダメっ



クスクス：
姉さんたらホントに
おばかさんね

姉さん：まだ気づかないの？
私、姉さんとお父様の事
最初から全部知ってたのよ
それに私も：



最初は私だけの
お父様だったのよ
でもそれじゃあ姉さんが
寂しいかなって

そう思ってお父様に
姉さんと三人で
仲良くしましようって
提案したのに：

フローラ！
目を覚まして…
アナタ何を言ってるの？
わかってるの？

姉さん…最初は本当に
腹が立ったわ…お父様を
独り占めして私を遠くへ
追いやったんだって…

フローラ…私はただ
あなたを守ろうと…
フローラ…

ええ…後でそれも私の事を
心配してそうしたんだってわかった
だからそれはもういいの…でも
本当の事を話しちゃったら姉さんは
姿を消すかもしれない…それは嫌だわ
私…姉さんの事愛しているもの

お父様はとっても優しいから
姉さんの望みを叶えて
あげたのよ…？
でもいつまでも私もお父様に
会えないのは寂しいわ…
だから家に帰ってきたの

姉さん…私達これからは
ずっと一緒よ…
仲良く三人でずっと
一緒に暮らすの

お父様
お母様
姉さん
妹さん
みんな
一緒に
暮らす
よ



アゲン
お願いこんな酷いこと
やめてえ!
だめえっ

ああ
ああ

お父様...私
姉さんの膣内...
弄りたいわ...
いいでしょう

いいとも...デボラの
肉襲はとも素敵だよ



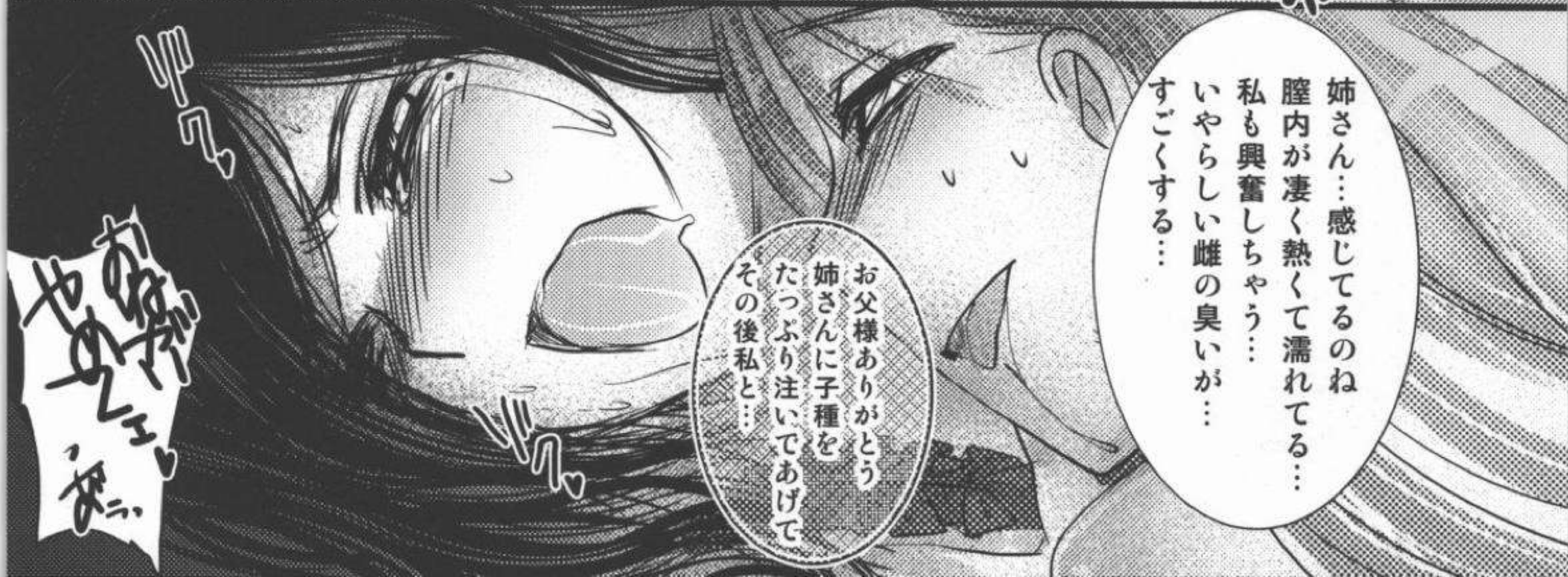
ああ
ああ

ああ

ああ

ああ

ああ



姉さん...感じてるのね
膣内が凄く熱くて濡れてる...
私も興奮しちゃう...
いやらしい雌の臭いが...
すごくなる...

お父様ありがとうございます
姉さんに子種を
たっぷり注いであげて
その後私と...

ああ
ああ

ビキッ

ああ、
お父様と
お母様が
合はる様
だわ...

ああ…素敵…
姉さんの愛液と
お父様の精液が
混ざり合ってる…

シッ
キュッ
パッ

キュッ

お父様
私も欲しいわ…
このまま三人で溶け合いましょう

んんん…二人の味が
絡み合ってすごく興奮するわ
いやらしい味がして…
美味しい…

はっ
はっ
はっ
はっ

はっ

ちゅっ

はっ
はっ



たまらないわ…
ゾクゾクする…
姉さんを
組み敷きながら

ああ…
姉さんの愛液に塗れた
お父様のちんぽが…
私を犯すと思うと



お父様に貫かれるのお
おあつ…っお父様あつっ
お父様のちんぽがあつ
入ってくるうっ…

お父様のちんぽが
好きです
あつっ
お父様のちんぽ
素直な気持ち
で受けたい



お父様の
ちんぽが
好きです

お父様の
ちんぽが
好きです

淀んだ淫臭のただよがいばらの檻
いびつな愛情と執着という名の棘が
絶えず私を傷つける
もがく程に堕ちていく闇のなか
信じていたものがなんだったかも
もう思い出せなくなつてゆく

姉さん...愛しているわ...

ズッ

ズッ

姉さん…愛しているわ

誰にも渡さない

誰か私を…
このいばらの檻から
連れ出して
光のある場所へ…

お願い…
私と一緒に
連れて行って…

後書きです。どうも英田です。今回のデボラのお話は信じていた養父と、必死で守っていた筈のたった一人の妹に裏切られて陵辱されるお話です。

ホントはもっと、街の人たちにとんでもない我まま娘だと思われていたデボラが必死に虚勢を張って、誰も寄せ付けなないように振舞っていた…とか、主人公に「アナタにだけは私の本当の姿を…」とか、ちょっと脆い自分を見せるんだけど…とか、もっと色々描きたかったんですが、ページ数の都合で省いてしまっています。うーん残念。エロシーン削りたくないしな!(そこか!)

書いていくうちになぜかフローラが一番キャラが濃くなってしまっているのは何故だろう。書いてて一番楽しかったです。

2月に発行する予定でしたが、体調不良で4月まで延びてしまった事を、お詫びします。待ってくださった方本当にすみません。

また機会があれば、デボラな本を描いてみたいです。今度は明るいノリでいければいいな。

英田 舞

2009.04.某日



LAGARTO

発行日:2009年4月26日
印刷:スストウシャドウ様
製作:Lagarto
著者:英田 舞

連絡先:lagarto@rinrin.saiin.net
WEB:<http://rinrin.saiin.net/~lagarto/>

無断転載、無断複写、WEBへのアップロードはかたくお断りします。
また、未成年による本誌の閲覧、購読を禁じます。



LAGARTO